

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	家庭教育の振興				所管	教育委員会 生涯学習課	
	行政計画	事業NO.	127	計画事業名	家庭教育の振興		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり [小 柱] (1)多様な学習活動の支援 [施 策] ①学習の機会と環境の充実			事業の開始・終了年度		
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし			
	事業対象	0歳～中学生までの児童の保護者及び子育て支援に関心がある20歳以上の区内在住・在勤者。					
	事業目的	子供は、家庭における家族の愛情やふれあいを通じ、生きる力の基礎的な資質や能力を育成するため、より良い家庭教育が行われるよう、保護者に学習の機会を提供する。また、地域に対し、家庭教育の重要性を啓発し、家庭教育支援を推進する。					
事業内容	①家庭教育学級:話し合い学習を中心に、区立こども園・幼稚園・保育園・小学校・中学校、私立幼稚園の各PTAを単位として実施し、家庭の教育力を高める。 ②乳幼児家庭教育学級:地域の教育力を活用し、家庭教育を振興できる団体に事業を委託して実施し、家庭の教育力を高める ③家庭教育支援者養成講座:子育て支援者を養成し、孤立する保護者を支援することで、子育ての地域力を高める。また、家庭教育支援者養成フォローアップを実施し、支援者のスキルアップを図る。						
委託の有無	一部委託	委託内容		乳幼児家庭教育学級を、子育て支援活動等を行う団体に委託			
補助金の有無	国・都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
	活動指標	家庭教育学級会場数	会場	43	42	42	41
		乳幼児家庭教育学級会場数	会場	4	4	4	4
	成果指標	家庭教育学級参加者数(延べ)	人	4,000	4,172	3,935	3,360
		乳幼児家庭教育学級参加者数(延べ)	組	250	201	262	310
	決算額 (単位:千円)				2,448	2,593	2,712
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,898	4,010	6,242
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			804	820	1,139
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,644	1,774	1,573
		総経費			11,346	6,604	8,954
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,038	1,195	1,808	
	一般財源(区負担額)			10,308	5,409	7,146	
前回評価から改善した事項	定員を超えて応募があった乳幼児家庭教育学級において、スタッフの数を増やして対応することで、参加者数を増加させた。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	核家族化等を背景に家庭教育の低下が指摘されるなか、家庭教育の充実を図るためのニーズは高まっている。				
	効率性	3	家庭教育の重要性は今後も広く周知していくべきなので、より有効な方法を模索しつつ、家庭教育の振興を図る。				
	手段の適切性	3	家庭教育学級及び乳幼児家庭教育学級は自主的・自立的に学びきっかけとなるよう行っている。今後も本事業のねらいを浸透させていく必要がある。				
	目的達成度	3	本事業全体としては、子育て中の親を支援する地域づくりに向けた施策を進め、支援活動につなげていくよう事業展開し、充実を図っている。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
家庭の教育力の低下が指摘される中、施策の重要性が高まっているため、家庭教育力の向上のために、地域の人材育成に力を入れていく。合わせて家庭教育に関わる団体や、他部署との連携を強化し、情報提供の充実を図る。					維持		